



日本学術会議 総合工学委員会・電気電子工学委員会
IMEKO分科会



先端計測2013

平成 25 年

3 月 12 日(火)

10:00 - 17:00

日本学術会議講堂

(東京都港区六本木 7-22-34)

◆プログラム◆

開会あいさつ

基調講演 「バーチャルリアリティとテレイグジスタンス」

舘 暲

(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)

講演 「痛みの分かる材料・構造の為の光ファイバ神経網技術の展開」

保立 和夫

(東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻)

講演 「MEMS-in-TEMによるナノ接合の破壊、熱伝達、固相拡散の
その場観察」

藤田 博之

(東京大学生産技術研究所)

講演 「感性バイオセンサ」

都甲 潔

(九州大学大学院システム情報科学研究院)

講演 「万物は情報を発信する

ー安全安心社会実現のためのセンシング技術ー」

板生 清

(東京理科大学大学院イノベーション研究科)

講演 「スマート農業と植物Phenomicsのためのセンシング技術」

亀岡 孝治

(三重大学生物資源学研究所)

閉会あいさつ

先端計測 2013

主催：日本学術会議 総合工学委員会・電気電子工学委員会 IMEKO 分科会

共催（予定）：計測自動制御学会

後援（予定）：応用物理学会、環境科学会、環境システム計測制御学会、システム制御情報学会、自動車技術会、情報処理学会、人工知能学会、静電気学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本応用磁気学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本植物工場学会、日本生体医工学、日本生体磁気学会、日本生物環境調節学会、日本赤外線学会、日本塑性加工学会、日本鉄鋼協会、日本バーチャルリアリティ学会、日本分析化学会、日本リモートセンシング学会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会

日時：平成25年3月12日（火）10:00～17:00

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）

開催趣旨

計測技術は非常に広い分野に関連する横型技術で科学技術の最先端から日常生活にわたる基礎技術として非常に重要な役割を果たしている。

計測技術は本来個別の問題解決のために創出あるいは開発されることが多い。そのため、それぞれの分野において急速な進歩発展を遂げつつあるにもかかわらず、横型技術の宿命で、縦型の専門分野の中で固有技術として埋没し、技術の本質が充分明確にされないのは大きな損失である。

本シンポジウムは特に計測と関係の深い関連学会が多数協力し、広い分野で有効な計測理論、手法、装置、システム構築などに関する最新の知見を定期的に発表討論して共通の技術資産とすることを目的とする。

それによって計測の進歩はもとより応用分野の発展を促進する。

プログラム

10:00-10:10 開会挨拶

石川 正俊（日本学術会議連携会員、東京大学大学院情報理工学系研究科教授）

10:10-11:00 基調講演 「バーチャルリアリティとテレグジスタンス」

舘 暲（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任教授）

11:00-11:50 講演「痛みの分かる材料・構造の為に光ファイバ神経網技術の展開」

保立 和夫（日本学術会議会員、東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授）

13:10-14:00 講演「MEMS-in-TEMによるナノ接合の破壊、熱伝達、固相拡散のその場観察」

藤田 博之（日本学術会議連携会員、東京大学生産技術研究所副所長・教授）

14:00-14:50 講演「感性バイオセンサ」

都甲 潔（日本学術会議連携会員、九州大学大学院システム情報科学研究院教授）

15:10-16:00 講演「環境・人間・人工物の調和をめざす人間情報センシング」

板生 清（東京理科大学大学院イノベーション研究科教授）

16:00-16:50 講演「スマート農業と植物 Phenomics のためのセンシング技術」

亀岡 孝治（三重大大学生物資源学系研究科教授）

16:50-17:00 閉会挨拶

本多 敏（計測連合シンポジウム企画運営小委員会委員長、慶應義塾大学教授）

事前申し込み不要

連絡先 慶應義塾大学理工学部 本多 敏（TEL: 045-566-1609 honda@appi.keio.ac.jp）